

地方独立行政法人大阪市博物館機構
令和4事業年度の業務実績に関する評価結果

令和5年8月

大 阪 市

1 地方独立行政法人大阪市博物館機構の評価の考え方

市長は、地方独立行政法人大阪市博物館機構について、「地方独立行政法人大阪市博物館機構にかかる業務実績評価実施要領」に基づき、次のとおり令和4事業年度の業務の実績に関する評価を行った。

(評価の基本方針)

- (1) 評価の目的は、年度計画、中期計画の進捗状況等を目標の達成状況や具体的な事例等により評価し、組織・業務等に関する改善すべき点等を明らかにすることにより、法人運営の質的向上及び大阪市ミュージアムビジョンに掲げる「都市のコアとしてのミュージアム」の実現に資することとする。
- (2) 市民への説明責任の観点から、中期目標の達成に向けた法人の取組状況等を分かりやすく示すこととする。
- (3) 評価の方法については、法人を取り巻く環境変化等を踏まえ、必要に応じて見直すこととする。

(評価の方法)

評価については、日々の博物館活動及び地方独立行政法人の経営を行うこと（インプット）を通じて、その「結果」（アウトプット～小項目）を確認することに端を発し、活動や経営を通じて周辺の地域や環境等に影響を与える「成果」（戦略、中項目）、ひいてはさらに広い社会全体にとっての「効果」（目標（アウトカム）、大項目）をもたらすという「流れと広がりを持った」検証手法であるロジックモデルを採用して行うこととする。

(全体評価の具体的方法)

市長において、項目別評価の結果を踏まえ、評価委員会からの意見を参考に年度計画及び中期計画の進捗状況について評価を行う。

(項目別評価の具体的方法)

年度ごとに、年度計画の達成度を評価するとともに、「中期計画期間において達成すべき目標（大項目）への進捗度を測るため、「中項目」における達成度の評価を行う。

- (1) 「小項目」（全81項目）につき、その達成度を5段階で記載する。
 - ① 法人が、各館ごとの自己評価を基に作成した業務実績の自己評価結果を、所管する経済戦略局に提出する。

自己評価の区分は次のとおりとする。

- 5…年度計画を大幅に上回って実施している
- 4…年度計画を上回って実施している

- 3…年度計画どおり順調に実施している
- 2…年度計画を十分に実施できていない
- 1…年度計画を実施できていない（未実施）

- ② 経済戦略局では、法人による自己評価を踏まえた市長評価（案）を作成する。
経済戦略局において、法人の自己評価、目標設定の妥当性及び目標への取組等を総合的に検証し、年度計画の進捗状況について、1～5の5段階による評価を行う。
評価区分は、法人の自己評価のそれと同様とする。
 - ③ 評価委員会を開催し、法人による自己評価に対する市長評価（案）に関して、その点数案等について評価委員会が意見を申述する。
- (2) 小項目に関する評価に基づき、経済戦略局は「中項目」（全 20 項目）への達成度を 5段階で評価を行う。
- ① 経済戦略局において、項目別評価の合計点や、年度計画及び中期計画の全体的な進捗状況を踏まえ評価を行う。
評価については、評価の基準とするべき点数を「3」とし、その上で属する小項目群の評価を参考とし、基準を上回る（下回る）評価を行うべき必要がある場合には、その理由を付した上で評価を行うものとする。
 - ② 中項目の市長評価（案）について、評価委員会にて議論を行い、委員会としての意見をまとめる。その意見を反映した評価の合計点（100 点満点）を最終的な当該事業年度における法人の評価とする。
- (3) 評価委員会は、さらに総評としての「全体評価」について議論を行い、委員会としての意見をまとめる。
なお、委員から次期事業年度に向けた改善等の意見があれば併せて記載する。

2 全体評価

以下のとおり項目別評価の結果を踏まえ、大阪市地方独立行政法人大阪市博物館機構評価委員会における評価委員の意見を参考に、令和4事業年度における地方独立行政法人大阪市博物館機構の業務実績に関する全体評価を定めた。

令和4年度について、全体としておおむね計画通りの取組ができていると評価する。

自然史博物館、科学館、大阪歴史博物館の常設展において、工夫を凝らしたテーマ展示などにより全体として年度目標を上回る来館者を迎えたこととともに、改修休館中の市立美術館や東洋陶磁美術館においては所蔵品を外部へ貸し出し積極的に活用を図ったこと、また、各館の建物等を有効活用したユニークメニューや民間企業と協働したミュージアムグッズ開発などについて計画を上回る取組ができている。

また、文化庁補助金を活用した小学生向けオンライン授業鑑賞学習コンテンツの開発などの教員等への支援とともに、博物館機構職員のスキルアップに向けた研修の実施など人材育成も着実に実施できている。

一方で、ネットワークセキュリティ強化の取組が計画通り進捗しなかったことから引き続き対応が必要であり、ハード面の対応に加えて運用などソフト面での強化にも取り組まれない。その他、博物館機構の事務全般においてもリスクを未然に防ぐために、事務工程の検証及び職員研修などの定期的な対応に取り組まれない。

引き続き、地方独立行政法人として経営と運営の一元化によるマネジメントを発揮し、継続的な改善、来館者目線を踏まえた柔軟な運営とともに、各館の国内外における認知度の向上にも努めていただきたい。

3 項目別評価

別添の達成度評価シートのとおり令和4事業年度の業務実績を項目別に評価した。